

平成29年度 特定非営利活動に係る事業報告書

NPO法人ちば子ども学研究会

1 事業の成果

平成18年度より協力している千葉大学教育学部の「地域子育て支援活動実習Ⅰ、Ⅱ」の履修学生との活動を中心に事業を行い、HICプロジェクトとして開催した夏のイベントは大変好評だった。

ゆるプロ～ちばゆるやかにつながろうプロジェクト～では、2年目となる「ちばサンプラザプロジェクト2017」の開催、地域の活動を伝える情報紙「ゆるプロ通信」を創刊号と第2号を発行した。

NPO 法人まちづくりスポット稲毛主催の土曜日学校に協力し、助成事業として「表現力アップ講座」を開催し、小学生対象のイベント開催を行うことができた。

情報モラル教育に関する新しい取り組みとして、「スマホ依存度チェック表とおみくじ」「スマホ川柳トランプ」の2アイテムを作ることができた。

【子育てに関する研修、学習の場を提供する事業】

■千葉大学教育学部小学校教員養成課程「地域子育て支援活動実習Ⅰ、Ⅱ」の開催協力

➤ **HIC(Happy International Communication)プロジェクト**

前期の授業では、3H日本語学校の学生と協力して小学生対象の「大学生&アジアの留学生と楽しく遊ぼう」を開催するための活動を行った。

当日まで、千葉大学の学生と3Hの留学生がイベントの内容を決め準備を進めた。イベント当日の7月25日は3Hのベトナムとネパールの留学生がそれぞれ制作した自国の動物の鳴き声比べ紙芝居を演じ、他にも、6グループに分かれてアジアの国の名所や言語を教えてもらったり、ネパールや日本のゲームをして、楽しく交流することができた。

【イベント参加人数】小学生 30人・千葉大生 15人・3H留学生 18人・子ども学 4人 合計 67人

後期の授業では、「やさしい日本語・わかりやすい日本語」をテーマに3Hの留学生と交流を行い、ゆるプロ情報交換会にも留学生が参加し、多世代異文化交流会の場を作ることができた。ゆるプロ情報交換会で子ども食堂に興味を持った3Hの留学生が自発的に子ども食堂について調べまとめたものを発表してくれた。またサンプラザプロジェクトにも3Hの学生が参加し、非常ににぎやかなイベントとなった。

■情報モラルに関する活動

➤ **脱いじめ傍観者プログラムを学ぶ会**

6月6日ストップイットジャパン(株)の谷山大三郎さんによる講座を行った。助けたい人を助けられる社会にしたいという言葉が心にしみる講座となった。

➤ **スマホゲーム依存度チェック&おみくじ**

後期の授業で、遊びながら考えるスマホゲームの付き合い方として、おすすめプログラム、スマホゲーム依存度チェック&おみくじを学生に作ってもらい、サンプラザプロジェクトで実施した。子ども向けとして作ったが、大人が実施して自分の使い方を見直す機会になったという結果も得られた。

➤ スマホネット川柳トランプ

スマホデビューする後輩に対してスマホユーザーの学生が自分の経験を元に注意喚起するためのアイテムとして、スマホネット川柳トランプも作った。今後改良を加え、より良い形で完成を目指したい。

➤ ちば地域コンソーシアムに参加

青少年が携帯電話やインターネットを安心して安全に利用できる環境を作ることを目的とした「千葉県青少年を取り巻く有害環境対策推進協議会(ちば地域コンソーシアム)」に参加した。コンソーシアム初の試みである乳幼児親子対象の「みんなで考えるスマホ・タブレット×育児」の開催に協力し、今後も続けていくことになった。ケータイ・インターネット安全教室フォーラムで、展示した「スマホネット川柳トランプ」が予想以上に好評だった。

ちば地域コンソーシアム実行委員会(2回)参加 7/31、3/5

ケータイ・インターネット安全教室フォーラムに出展 3/3

みんなで考えるスマホ・タブレット×育児@都賀に協力 2/16

【子ども向けイベント事業】

■ 土曜日学校の開催@まちづくりスポット稲毛

NPO法人まちづくりスポット稲毛主催の土曜日学校に協力。まちスポさんからの依頼「大学生が小学生に教科を教える」に苦戦した。ようやくプログラムを決めても、当日学生が体調不良で欠席や遅刻というアクシデントが相次ぎ、急遽内容を変更するなど、冷や汗をかく体験をしたが、他団体とコラボする機会にもなり、新たな視点や取り組みを得ることができた。

小学生 24名参加

6/10	アイスブレイク、ちばコープさんの野菜の数え方クイズ、学生による川渡りクイズ、象形文字パズル
7/8	糸電話作り、風船電話作り、荘司さんの読書感想文ワンポイントアドバイス、新聞紙載りゲーム
7/31	各自夏休みの宿題をするほかに新聞紙とかげ作り、サイコロの目の出方調べなど
8/1	うんこドリル、クロコダイルゲーム、じゃんけん列車など
8/2	うちわ作り、クロコダイルゲーム、夜灯の紙芝居、夜灯の絵を描く、給食
9/9	アイスブレイク、指文字しりとり、虫食いゲーム、DS折り紙、自分のルール決め、クロコダイルゲーム

■ 子どもゆめ基金助成活動 小学生対象表現力アップ講座@まちづくりスポット稲毛

ちばサンプラザプロジェクトに連動する企画として、小学生対象の「表現力アップ講座」を子どもゆめ基金の助成活動として行った。最後に紙芝居発表をすると告知したためか、紙芝居好きな子どもたちが多く集まり、練習するごとに表現力に磨きがかかり、生き生きとして活動になった。

小学生 15名参加

10/22	参加型紙芝居を楽しもう	となみん(礪波由里子さん)
11/4	「て」と「て」でおはなししよう	善岡修さん(人形劇団デフ・パペットシアターひとみ)
11/12	表現力を磨こう	となみん(礪波由里子さん)
12/10	ちばサンプラザプロジェクト 表現力発表会	

【子育てに関する情報の発信、発行事業】

■ブログ・ホームページの更新

ブログの更新を行い、ツイッター、Facebook ページも連動させ告知に力を入れた。

<https://www.facebook.com/chibakodomogaku/>

【子どもも大人も安心して過ごせる居場所作り事業】

■ゆるプロ～ちばゆるやかに繋がろうプロジェクト～

前期は、地域活動をしている方をお招きして活動についてじっくりお話を聞く機会を多く設けた。

後期は、情報交換会とちばサンタプロジェクトを開催し、地域情報をまとめた「ゆるプロ通信」を学生と協力して2回発行することができた。

ちばゆるプロ Facebook ページ <https://www.facebook.com/chibayurupro/>

➤ ゆるプロ活動紹介会及び情報交換会の開催

4/25	KESSA 大塚和美さん	NPO法人まちづくりスポット稲毛 大田万喜子さん
5/9	Twinkle-Twinkle Stars 親子英語クラブ 小林ともみさん	千葉市子ども食堂ネットワーク、いなげプレーパーク 渡辺忍さん
5/23	NPO法人情報ステーション 木村圭佑さん	NPO法人おやこカフェ幕張 佐藤紘孝さん
6/13	子ども人権ネットちば 金田奈津子さん	Cubic Cafe 藤本美幸さん
11/7	情報交換会	4 団体参加

➤ ちばサンタプロジェクト の開催 @まちスポ稲毛 12/10

昨年11団体と協力して開催したちばサンタプロジェクトを今年度は15団体の参加により500名が参加するイベントとして開催することができた。今年度の工夫点、特徴として①小学生が確実に参加するための作戦⇒事前の連続講座+プロジェクト当日の発表会②費用捻出のため⇒子どもゆめ基金の助成事業として開催③3H日本語学校留学生の参加④横浜サンタプロジェクトとの連携⇒東京キリンビバレッジサービス(株)さんの参加⑤ゆるプロ通信創刊号の配布である。来年度への課題は、①参加団体増と会場の広さの関係②他会場との連携のしかたを再検討③費用捻出方法をどうするか？(助成金は縛りがあり使い勝手があまり良くない)④子どもの潜在能力をもっと活かす工夫の4点である。





➤ **ゆるプロ通信の発行**

ゆるプロの活動を広く広報する方法として地域の活動をまとめた情報紙「ゆるプロ通信」を作成した。情報発信として、今は WEB 媒体が主流だが、あえて「手から手へ」渡す、顔が見える方法として紙媒体を選んだ。作成は授業の中で、学生たちに内容を考えまとめてもらったが、創刊号は手探り状態のままで発行となった。しかし、創刊号の気づきを活かし、続けて第2号を作ることができ、形にする意義を感じた。まだ、内容や配布方法など課題が多く、試行錯誤しながら今後も発行していきたい。



創刊号 2017年12月発行 1500部

第2号 2018年3月発行 2000部